慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	モーリス・ドッブ著 京大近代史研究会訳 資本主義発展の研究
Sub Title	
Author	尾城, 太郎丸
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1954
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.47, No.12 (1954. 12) ,p.1158(80)- 1160(82)
JaLC DOI	10.14991/001.19541201-0080
Abstract	
Notes	書評及び紹介
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19541201-0080

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

.

かれれている。 ででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 にら所をふず得るが厚一意る あれ得混事し概事經生面義と 部への商業化された社會 「富田 重夫) 「富田 重夫) 「富田 重夫) 「富田 重夫)

・モ 主義發展の 研

資 0 AFF. 究

本書は原著 Maurice Dobb, Studis in the Development of Capitalism, London, Routledge & Kegan Paul, 1946 の第五版から序文および第一章——第五章までの飜譯を収めたものである。原著は「封建制から資本制への移行」に關するいめて密接な關係をもち、その性格についても、例えばドツブのめて密接な關係をもち、その性格についても、例えばドツブの立場はわが講座派あるいは大塚史學の系統の人々の支持を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの立場は労農派あるいはそれに近い人々の対方を得、スウィジーの対方を対方を表示している。

といド性學た いるツを解論 わのブも説争 ねではつIの ばあこて一二 なるのい一再 らから、 た。した。 した。 したの ない。わいのお 頁のよ かも れたなりない。 0 れ本 英感 れ書きに ーじ とに點 氏を 補論)、 つ示 部は大体本譯書 (補論) われわれ てし 本た書自 の己 60 つ見 n 0) 意解 09 部分に屋 研究に 味を は堅 大持 親經 きし し、近濟 いて、

第なよ々

崩的第の明過を式ヒウ 體第一つうが、 壊變一資確程明のヤエさ的二章でと既著 か動が本にをら特ししてな章ではした者 様式 Petty Bethy B 制政あり階歴こ座ニー の治。スが史と様ツ・ 具

生て 産で論様あ争 來小い

の見 ブウらアらと史興 强寄興るていよすでと化封はも様る試て以ル・エ家クーは實一又調生商都いこつるは都し建、の式と 表の發展を阻止する性格をもった。 一義の發展を阻止する性格をもった。 一点、とくに第二章「対建制は制度として残存している。 を指摘し、とくに第二章「対建制は制度として残存している。 では方式が生れるが生れるが ではかなる生産様式が生れるがでや東歐の背違制度として残存している。 では、という貨幣經濟的な側面に でで「ブルジョアジーの記源」で で「ブルジョアジーの記源」で で「ブルジョアジーの認力を に対して でで「ブルジョアジーの記源」で で「ブルジョアジーの記源」で で「ブルジョアジーの記源」で で「ブルジョアジーの記源」で で「ブルジョアジーの記源」で で「ブルショアジーの記源」で で「ブルショアジーの記源」で で「ブルショアジーの記源」で で「ブルショアジーのに對して の後に、 の後に、 の後に、 のののでして、 ののののでして、 のののでして、 のののでして、 のののでして、 のののでして、 のののでして、 ののののでして、 のののでして、 のののでして、 のののでして、 のののでして、 のののでして、 ののののでして、 のののでして、 のいのでして、 のいののでして、 のいのでして、 のいのでし つそにでか條、スかか建にいて、過期たの至、ら件のんは制のた、過期のともつい設で命に商のみこド渡の とのたわ明は題依業封矮とツ的生がに新ゆしなに存に壊少、ブな産

で質なれ絡問含 さ本らるみ題む はれへなた合が第 この単一ではいていているとは、一つでは、一つでいるとは、一つでいるといっている。 命更い、定風扱資 性ク觀ニーしわ本 格ロ點ュ下難れの のムかフかい 、勃

ベ次濟るきの史。 で二學 **`**の ガ三理 うの論の點的 は水 ド進 ツか ブら

3

二人上 とブ貴確原つこ形第種源れ級階八岩げ間いの族で書たろ成二々的たので ○波な題つ强のあり基はド促設財積 幣 に ・ 選ばしなる変更的言でを は 労 積 地 書なての一本に過しはるは對上働集を、ちこ間二家原程で、働小建げ力中の 一なれ題つへ著|お獨き生階がそさ他 うツ人明と變とのちは本ら階

○B 指究 尾 6 摘者 城版をが

近藤康男監修 大谷省三編集

革

調との一は 関査」同氏篇「日本館」 はさておき、法學の地はさておき、法學の地はさておき、法學の地はさておき、法學の地はさした實證的研究―― 不農業の統計分析」 一た。又諸研究のH 一た。又諸研究のH 一たとえば近藤田 の畑でも法律學體型 一康基く系農 にす中農加論 送る心村藤爭

(とス説うけここお定な「立後で第一料ら 序すな、とるとこりのい農しの大六本」れ 文る方論こ生とに、受日地た牛體卷元のて 数独領に産い粤典業木で取料報、のしい ****

* -

地三農めを第 制諸村ぐめ二本 度氏社るぐ章書 ぐ章書 執會諸る u 耕筆關 諸農總 間 作と係題問地説 題 古島敏雄、 改 ٤.5 津第革近 山一の藤 所構 四節歷康 有成 史男 、牧村讓、 農地移動 農地移動 大的地位 西 0 問題、世界四章 西章 林野所も 近藤康男、 你野所有。 自作農 第三節 山武一、農地改艺 と移の 革 の 動質存形態 水利支配 水利支配 、第三章 典 された 農 林地改革 制 る 谷 業 を を ま と 省 海義 野東大大

本の農地改革のではなかろという間の提出のではなかろという間の提出をいる所の提出をいる。 意う分表が丁 こ制農の こをへそ と。 度私で映のれ 限西當的現す轉と 界山時所段高身日を氏の有階額、本 否 明のロになりません。 か圖ア脚け價に比較にはのするにお較 さこよる問阻けさ 的 れれう資題止るれ るらに本はさ資るこの主、れ本こ と考と義も て主と 行 で察いをはい義に あにう經やる的よ

居代 () は 政事後の 農業 は は 改事後の 農業 は は と と で ない こと を で ない こと は 疑 的 土 地 所 有 を た だ が 表 する こと が の 解 豊 は は か 豊 は が ま な か 豊 は は か 豊 は が 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 は は か 豊 な か 貴 な か 一か早の有叫なれが配はの目曜〇月工具来 一六多末う的氏る的構に村と體認頁は地を生四いの。性とマに造よのいをさと生所統計 四、格共ル封といつ舊う。 格共ル封といつ舊う。

へ と を を を 價思を う記 九 ⁶入· 0 週二理 九論 全五の 上な